

大熊町立学び舎ゆめの森 視察の様子



福島大学教職実践研究科から

教職大学院で学ぶこと

様々な機会に学校現場を訪れると、たくさん先生の先生方が学びたい！と思っていることを感じます。また、とても豊かな実践をしているのにも関わらず、なかなか自信がもてずにいる先生方もいらっしゃいます。教職大学院は、そのような先生方が学ぶことができる場です。現職院生は、入学するとまず自己の教育観と実践を見つめ直すことからスタートします。そして、何度も考えることで自分が本当にやりたいことを見つけ、研究（実践も）していきます。この教職大学院便りでは、院生の皆さんの学びを積極的に発信していきます。教職大学院で学んでみたい、どんなことを学んでいるの？と考えている皆さんのヒントになればと思います。

教職実践研究科 研究科長 宗形潤子

福島大学大学院教職実践研究科

福島大学公式キャラクター
めばえちゃん

教職大学院便り

編集:教職実践研究科
M2猪俣 北田

令和6年4月5日 発行 NO3



教職大学院に入学して1年が過ぎようとしています。この1年はとても充実しており多くの学びを得ることができました。教職大学院での講義では、現職派遣の院生と学部卒院生間でのディスカッションを中心に行われ、様々な視点から考えを深めることができました。また、ディスカッションを通して各院生の「教育」に対する熱い想いを知ることができたり今まで知り得なかったことを新たに発見したり楽しく学ぶことができました。講義終了後も、院生同士で継続して話し合う姿や本などを熟読し学びを更に深めていく姿があり、学び続けることの大切さを改めて学びました。今年も現職派遣の院生と学部卒院生の皆さんと様々な視点に立って考えや想いを語り、学びを深めていくとともに学び続ける姿勢を大切にして研究や実習に取り組んでいきたいと思います。

授業デザインコース2年 猪俣真理子（学部卒院生）

大学院生の実際の声



大学院での学びの様子



教職大学院便り

編集: 教職実践研究科
M2 猪俣 北田

令和6年4月5日 発行 NO3



ラウンドテーブルのご案内



昨年度の様子

福島大学では「学び続ける教師コミュニティ」「学び合うコミュニティ」を創ることをねらいに、年2回「教育実践福島ラウンドテーブル」を開催しています。午前の部は基調講演、午後の部は少人数のグループに分かれ、日々の教育活動や教育に関して感じていることや課題、悩みを自由に語り合います。

ハイフレックス型での開催で、参加費無料。どなたでもご参加いただけます。詳しい情報は、福島大学のホームページで近日公開予定です。

今後の予定

【2024夏】2024年8月9日（金）10:00～16:00

基調講演

「ウェルビーイングの考えを取り入れた学校づくり」（仮）

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 教授 秋山美紀先生

【2025春】2025年2月15日（土）10:00～16:00

基調講演

「学校・家庭・地域が連携した発達の特性がある子どもへの支援」（仮）

立正大学名誉教授 中田洋二郎先生

教職大学院について知りたいときは・・・

教職大学院の情報は

こちら↓



入試情報は

こちら↓



<お問い合わせ先>

福島大学 人間発達文化学類 支援室

Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

Tel: 024-548-8103

